婦人と新社會

山田わか主筆

四月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和二年三月二十三日印刷納本

戀愛と社會制裁
教會と社會問題
不可抗力の範圍
幼兒の教育
兒童教育と活動寫眞
―編輯の後―

每月一回一日發行　第八十五號　昭和二年四月一日發行

東京市婦人と新社會社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戀愛と社會制裁

戀愛と云ふ人生の本流は無責任な人々が無方針に扱へば濁水となり、なまなか教育された自由主義者が扱へば徒らに汎濫する無秩序な無益な流れとなり、本能を教育された秩序を重んずる人々によつて扱はれるならば人類をうるほす清水となる。そし、この清水を個人は勿論社會も要求するものだとすると、戀愛は私事であつて社會の干渉を受くべきものでないと云ふ意見はその基礎がまことに不完全、且つ、薄弱であると思ひます。

昔の雜婚時代の國民に於てゞすら、戀愛關係は社會的制裁を受けてゐたと云ふ事實が人類學上明らかになつてゐるのですから、複雜な現代社會に於て、この關係が社會的制裁を受くべきでないとはいはれないことです。

この愛慾本能は人間の持つてゐる本能中で最も力強い本能であるにも拘らず、この本能と殆ど匹敵する食慾本能を始めとして凡ての本能が社會的制裁を受けてゐるのに、この本能ばかりが社會的制裁を受ける必要がないと云ふ理由は何處にも見出せません。

さうでないと云ふのは個人の我がまゝを辯護するに過ぎないと思ひます。自己が社會の一員である以上、自己の幸福がまた社會の幸福となるのでなければ眞の幸福とは云はれません。社會の幸福を紊すやうな自己の幸福はあり得ないと考へます。

この見地から私は戀愛を見、これを標準として戀愛の正邪を批判しようと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

教會と社會問題

凡ゆる宗教團體が、今、なほ生きた眞理を所有してゐます。そして、その眞理は人類に光りと生命を與へるものであるに相違ありません。

處で、宗教團體が單にその眞理を所有してゐるといふことだけでは必ずしもその團體が生きてゐるとはいはれません。なるほど、その眞理を所有してゐると云ふことは其れだけでも明かに知力的な滿足となるに相違ありませんが、併し、何かの原因からその眞理が弱くなり、甚だ不完全に了解されて事實上その眞理が無能になつてゐる場合があるかも知れません。その結果宗教そのものが曖昧なものとなつたり、その有つてゐる眞理さへも疑はれるようになつたりすることがあります。そして、不完全に認められ不完全に解釋される結果外の多くの色々の信仰がそれ等の眞理を押し除けて民衆の心を捕へるようになるかも知れません。又、そうゆう例も澤山あります。

今日の基督教會の場合に於ては或る程度迄そうゆう狀態にあるように考へられなくもない。教會は凡て神の愛の理想を基礎としてゐるのであるけれども、併し近時の色々の勢力が影響して行つてその理想を不明なものにしてしまつてゐると云ふ觀があります。基督教徒自身でさへ自分の代表しているその眞理に雲をかけてゐると云ふ場合さへあります。世界に對する神の愛が今なほ基督教徒の最高な望みではあつても、併し、彼等は安心してその望みにすがつてゐることができなくなつてゐるのです。そして、彼等が神の福音を傳へる爲に社會に向つても民衆

はその福音の基礎的事實に關して疑ひの眼を向けると云うのが今日の實狀です。

基督教の信仰なるものは默示の上に立てられたのでありますがこの默示なるものは、以前に想像されていたものとは甚だ異つたものになつてゐます。又、人間生活に對する神の恩惠は爭ふことのできない程多く證據立てられているにも拘らず、科學は默示とは全く異なつた方面に於て多くの事實をその偉大な力をもつて現していぅます。勿論、科學は最高な善を信ずる一般の信仰を破壞するようなことはしなかつたのですが、併し、科學が多くの複雜な問題を提供したのは事實です。そして、それ等の問題は不可能な解決を要求しているかのように思へます。たとへば、基督教の力を商業生活に適用することの困難は年々增大して行くようです。

今日、世界が解決に苦しんで居る國際問題や人種問題は暫らく置いても、一國内の社會問題又は產業問題さへも基督教は解決できないように思へます。それは基督教の力が應用されても不充分であると云ふのではなく、それを應用する事ができないのです。けれども、より單純なより原始的な社會狀態には昔のまゝの基督教が如何にもよく適したのかも知れません。この眞理と愛と善の福音が僞善と腐敗と殘酷と不公平の社會に始めて傳へられた時には全く基督教は天の息を民衆に吹きかけたと感じられたのは尤もです。實に、基督教は山火事のような勢をもつて世界に擴まつた程不思議な、これ程榮光あるそれ程希望に充ちた、そして、約束と新しい生活とを與へるものであつたのです、けれどもその勢力は既に久しい前に衰へ始めました。そして、その理由は今日の社會の有機體は以前のように單純なものでないからです。昔の基督教の山火事的な勢も、現代商業と云ふ巧みな組織と絕大な機械と莫大な利益とに對した時には只

螢の光りほどに映るようになつたのです。世界の進歩と社會の發達は新しい生活の樣相と新しい事情と新しい狀態とを絶えず現はしつゝあります。そして、神は最高な善であると信じ、愛は凡ゆる問題を解決する鍵であると信じても、併し、どうしてそれを現代に應用すべきかを人は知らないように思へます。現代の眞の困難は基督教がその本來の力を失つたと云ふよりはその力を如何に應用すべきかと云ふことであります。

基督教の教訓はやゝ時世後れのように思はれるようになつているのです。單に義務と考へられて居た多くの事柄は今日の最善な實際上の知識とは幾分斷離して來たのです。例へば、慈善は一の困難な複雜な研究問題となつてしまつている。貧困者に施すより施さないことが却て人の義務となつたような觀さへあります。商業や工業は時によると、正義を行うには極めて困難に思へるような狀態の下に營まれねばならないようになつています。喜んで多く與へようとする寛大な態度が却つて民衆の恨みを買うような狀態にさへなつて來ているのです。キリスト教徒等がこう云ふ風にして自らの原則を自らの仕事に應用することを躊躇する一方、非キリスト教徒は教會を意氣地のない團體と見て嘲けらうとさへします。

勿論、教會の愛に豊かな其の考へ方は最もよく見ても現代の焦眉の問題にとつては餘りに遠く、餘りに間接なものであるように思へるのです。

商業上乃至は産業上の危機の場合に於て最も勢力ある基督教信者の爲し得る凡ては根本的救濟ではありません。例へて云うなら、彼等の仕事は荒れ狂う波の上に僅かな油を流すようなものなのです。換言すれば、ほんの一時的の解決をなし得る軟弱な說得に過ぎないのです。併し

多くの場合それすらもできないようです。

今日に於ける基督教と産業界の關係は丁度歐州戰爭とヂエネバの會議の關係と同じようなものです。この會議が戰爭を防止することができなかつたように、基管教が産業戰を喰ひ止めることができないと云つても云ひ過ぎではないと思ひます。勿論ヂエネバの會議は戰爭の野蠻性を減じたり、又は負傷者を看護させたりすることに依て良き仕事をしたと云へませうが、先づそれ等がその會議の爲し得た全部であると云へませう。

今日、我々は、資本家と勞働者の爭議、悲慘な民衆の生活狀態、勞働過度、安い賃銀からの苦しい叫び、或は、又、失業といふような産業上の問題に直面します。これ等の問題は昔の猶太のあの健全な强力な豫言者の再來を願はしめて止みません。昔の豫言者は民衆の危機の場合や又は困難に陷つて居る場合には山中の仙人的の住居から或は沙漠から現れて來て、その嚴格なそして素晴らしい權威ある語調をもつて『主は斯く宣へり』と民衆 命令しました。實に、一國の君主又は一國民を戰慄せしめた言葉の持主なる昔の豫言者の眞の力は何處にあつたかといふと、彼等は些細な事柄には超越して素晴らしい勢ひで働いてゐる大原理を摑み、民心の向う處の大潮流を喝破する處にあづたのです。故に豫言者の言葉は豫言といふより寧ろ彼等の肉眼をもつて實際問題の中心を見た事實であつたのです。つまり、彼等はその周圍に渦卷いて居た人間の慾望や主張の潮流を鋭敏に觀察したのです。

私共は今目前に斯ういふ豫言者を要求して止みません。つまり、今日の産業界、商業界を觀察し、問題の裏面に横たはつて居る原則を明瞭に見て、昔の豫言者のような自信力と權威とをもつた眞の問題解決の手段を摘發する人を要求

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

してやまないのです。勿論、單に火のような熱心があつても、只神の言葉を繰返すだけでば何等の力がありません、又、單に、同胞愛や人道を說教しても何の解決にもなりません、今日私共が神の言葉を引くならばその言葉は經濟的及び社會的の法則を含んだ神の言葉でなくてはならない、今迄の大部分の教會の無力なのはこの點にあるのです。

繰返していふならば、今日の國民經濟と社會生活とに直ちに應用できるような神の言葉を引くのでなければなりません。多くのキリスト教信者はその解決を急務としてゐる多くの問題にキリスト教の原則を應用することができないばがりでなく、最も敏腕な最も明晰な頭腦の持主なる彼等の指導者ですら同じく無能であるように思へます。

仕事の規定、賃銀の調節、利益の分配、生活標準の向上といふやうな問題にどういふ風にキリスト教の根本原則をして直接影響を與へしむるか。教會の將來の勢力、恐らく教會の眞の生命は今述べた諸問題に對する教會の態度によると思ひます。教會は眞理の貯蓄所であり光りと導きの源であるに相遲はない。故に、今日の教會の責務は第一今は昔と違つて商工業は恐ろしく膨大されて居る事を見ること、又、罪惡にしても昔の罪惡は個人的であつたに反して今日のそれは團體的になつてゐることなどを見なければならない。故に罪惡に對して教會が當つて行くには昔のように個人に向うのではなく團體そのものを目がけて進まねばならない。勿論、個人に對する傳道は必要であるが團體に對する傳道の必要は全く其れに比較できない程であります。

教會としては眞理を貯へて置くよりは今迄に貯へた眞理を一切に利用することが必要です。そして、利用するに當つても個人的の利用なら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ばその力は微弱です。團體的につまり教會の全部が一團となつて働く事が有力です。換言すれば今迄は會員はいはゞ株主で役員即ち幹部のみが働いてゐたのであるけれども、今後は幹部も會員も一團となつて働くのでなければ生きた教會は存續されない。キリスト教會に席を置く人達か斯く考へ斯く實行されることを切に望みます。

不可抗力の範圍

三月九日東京朝日新聞朝刊第十一面の「大火焔に包まれた峰山町」の四段ぬきの寫眞及び「悲報相つぐ丹後の慘狀」と云ふみだしに神經をふるはし、次で「聖下陛下よりの御言葉」を二段ぬきのわくの中に見出して涙ぐましさを覺え悲喜こも〲の重い心で紙面を讀み下して行くうちに「保險會社早くも不拂を聲明す」と云ふ大阪電話を見て私は驚愕しました。その記事を見ると「奥丹後地方の震災に對する火災保險會社の態度は普通保險約款第五條によりその災害に付てはその責に任ぜずとの態度を明示してゐる……」とあります。

上御一人を始め奉り下萬民が罹災地に同情をあつめてゐる。仕事にアンレてゐる自由勞働者までが一泊廿錢の宿泊料を拂つた殘り全部を救護金に當てようとしてゐる、小學校の生徒までが義損金を出そうとしてゐると云ふ風に同情の涙をそゝいでゐる中に、ひとり保險會社ばかりがどうしてさう不人情、非社會的、非人道的態度で居られるのでせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一體、保險は不時の災害にそなへるためです安心を買ふための日頃の犧牲です。であるのに小さい損害なら償はれるが大きな損害なら突きはなされると云ふのは何としても不合理です。

不可抗力の理由で、法律上さう制定されてあるのですが、そして不可抗力には相違ないが、併し、それも程度の問題で、もし、日本全國が一時に破壞されたのなら、これこそ本當の不可抗力で、損害を償ふ力が何處にも無いのであるから止むを得ないけれども、併し、全國と比較する時には、災害地は廣いとはいへ一部分です何とかならない筈はない。

法律は何であれ、契約は何であれ、又、それに對する解釋は何であれ、この云ふ場合には社會の利益と云ふ點から打算して非常手段に訴へても仕拂ひ方法を講ずるのが本當です。

にも拘らず、大正十二年の關東の大震火災の時と云ひ、今回の丹後の場合と云ひ、不可抗力として法律をたてに罹災者の苦痛を見て見ぬふりして彼等を見殺しにして責任を回避しようとすることは實際非社會的行爲のうちの最も非社會的行爲、即ち、許すべからざる非人道的行爲です。

今から二十二年前の桑港の大震火災の時に私も罹災者の一人であつたが、その時火災保險會社は契約條項によれば仕拂はなくてもよかつたのです。併し、都市の復興と云ふことを眼目とし、目前の損害は復興の將來に回收すると云ふ主義で保險金は仕拂はれました。これが都市復興をどの位助長したか計り知るべからざるものがあつたのです。

關東大震火災の時にも、保險會社も日本人である限り義侠心を出すだろう。政府が保險會社を援助するだろう。時の首相山本伯が日ざましい果斷なる處置をとるだろうと私はかたづを呑んで待つてゐました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けれども、私のその期待は裏ぎられました。義俠心なく、果斷なく、うやむやのうちにとう〳〵保險金は仕拂はれなかつた。

我が帝都復興の精神は殺されてしまつた。

家を燒かれ、財を失ひ、肉親又は親友とは死別し、人間苦のどんぞこに突き落されてうめいてゐても、せめて保險金なりと手に入れば「これを力に生きかへろう！」と思ふ、此處に活路が見出される。

この氣持ちが結晶して生き〳〵とした精神が蘇生し復興事業は着着と進む。

けれど、その精神が殺されたゝめに、震災後五年の今日まだ東京には復興の跡の見るべきものがない。

であるのに、このにがき經驗をもかへりみず保險會社は、政府は、又、今回の罹災者の復興精神を殺すつもりであらうか？。

我々弱き人間の力以上の力が我々を襲ふた時には、法律を超越し契約條項を無視して罹災者の便宜を計つてこそ、頼みがいがある。

血を吐く思ひの罹災者に對して契約條項をたてに自己の利益を擁護しようとすることは、たとへ、僅かでも公平な心を持つてゐる人間には出來ない筈だと思ひます。

關東震火災の時に、保證金が仕拂はれず復興精神が殺されたゝめに、復興事業がはか〴〵しく進まず、そのために無駄になつた金は恐らくその時に仕拂へばよかつた金よりも多くとも決して少なくないであらうと私は觀測してゐます

市民の復興精神を殺して置いてそして、政府が直接に市民を救はふとしても、それに對して拂ふ金と努力との割りには効果はあがりません

たとへば、住宅を建てゝやつたり、食券を與へたり、又は、工事を起して一時仕事を與へても、さう云ふ風にして投じた資金は減ずるばかりで少しも殖へはしない。

さう云ふ性質の投資は、いはゞ用心水のようなもので、後から後から新らしい水を注入しなければ除々に減つて行くばかりです。のみならず、自然に流動しないのであるから水が腐敗してボーフラがわくように、直接救濟事業に投じた金は流動がないからボーフラと云ふ寄生虫、云ひかへれば、依賴心を起させ、怠け者を造る怠け者にならないまでも奮發心を起させる機會を奪つてしまひます。

　困難を切りぬけようとする精神があつて、切りぬけられる曙光が見えて、人は奮發心も起すし、伸びもするし、改革もあるのです。ですから、人の奮發心を起させないような設備は如何なる設備も決して有益ではありません。有益でなくてすめばよいが、却て損害になる。なぜなら、それは被救濟者を寄生虫にするばかりでなく、納税者を苦しめる事になります。

　具體的に云ふなら、一日働いて二圓とる人が遊んでゐる友人に一圓與へるとします。すると働いてゐる人も損なら與へられる人のためにも其れは何にもなりません。ですから、金を與へるよりもむしろ奮發する刺戟を與ふべきです。それが本當の救濟であります。

　そして、保險金は其のよき刺戟です。平生收入の幾分を割いて不時の出來事のためにそなへる。そして保險會社も被保險者も利益を受けるこの意味で、勞働保險の如きは勞働者の危急な場合の救濟策として最上のものであります。

　が、保險會社があてにならなくては何にもならない。

　小さい損害ならば賠償されるが大きな損害ならば突きはなされるのでは平生犠牲を拂つて保險をかけて置く意味が無くなる。

　で、私共は保險をかけなくても何にか安全な外の方法を考へなくてはならないと云ふことになつて本當に保險會社があてにならないと云ふ

ことは保險會社のためにも被保險者のためにも決して得策でない。

私共人類の生活は昔ながらの戰ひの生活ですが、同胞相食むの戰ひは昔のこと、今は、自然力と戰ふばかりであると思ふのは大間違ひ。

私共人間の知力も、意志も、感情も無視され何百年の努力の結晶も一瞬時にしてメチャ〱に破壊されるような自然の偉大なる力にさいなまれても、そこに少しの同情のヒラメキもなく生地獄に苦しむ人を更に生活苦の火の中へ突き落すような態度に保險會社は出ようとするのであらうか？

社會の耳目をもつて任ずる新聞も、政府も保險會社のその不德行爲を默視してゐるのであらうか？

幼兒の敎育

母の胎内を出るや否や、子供は、既に、何かの特殊な素質を備へて居るに相違ありません。そして、それを發見し、惡しきを矯め、善きを保護し、大きくして行くには兩親の深い注意と眞面目な心掛とに待たればならないと云ふことは云ふまでもないことです。その日の生活に追はれるやうな狀態にあつてさへ、親は子供の向上を皆一樣に希つてゐます。ですから、それ程生活に追はれてゐない、先づ、餘裕のある親達が子供を出來るだけ高尚に育て上げようと希ふのは當然であり、又、それが人類進歩の順當な過程であります。だが、子供の進歩發達を希ふのが急のあまり、往々學問を强ひたり藝術的興味を持たせようと親が努めてゐるのを認めますが、勿論、これは結構なことでありますが、併し、こゝに親さして注意しなければならない點

要なことがあります。先づ、第一に必要な事は、親は子供の發達する各々の時期を判然と理解することです。そして、それに從つて子供を導ひて行くのでなかつたならば、却つて子供の發達の芽を阻害することがあります。その各々の發達の時期に、當を得た教育が家庭に於て授けられてゐて、始めてその次の時期に授けられる教育が完全に受け容れられます。例へば、先づ、第一に新芽を完全に保護し培ひ、次に穗を、それから良い穀物を得るといふのでなければなりません。子供の精神的幼芽時代を無視する、又は、有害なおせッかいをする程危險なことはありません。

子供が、まだ、幼芽時代にあるのに、實つた穀物を持たせるやうな、つまり、本を讀む備準が出來て居ない子供に本を讀ませたり、親が判斷すべき事柄を子供に判斷させたり、又は、推理力の備はらない時代の子供に推理させたりすることなどは子供の發達を阻害するものです。

親達は、子供に自分の事で爭つて居るとか、自分が苦勞の種となつて居るやうに感じさせないやうにしなければならないと思ひます。

又、子供に對する兩親の態度は絶對に一致して居なければならないものでありますが、併し、この點はあまりに度々其の正反對であります。子供は欺したりすかしたりする代りに正しい權利を擁護してやり、且ツ、又有益な制裁を充分に加へてやらなければなりません、

速かにはつきりと定めなければならない事柄の起つた場合に、ぐづぐづして居たり曖昧であつたりすることも非常に子供のために有害です。兩親に自信が欠けて居ればその子供にも自信が欠け、兩親が神經質であれば子供も神經質になります。妻が夫の歸りを喜ぶよりも夫の買つて來た品物をより多く喜ぶなら、子供は、父、又は、母の歸りを喜ぶよりは買つて貰へた玩具をより多く喜ぶやうになるでせう。人は誰でも自分の最も敬愛する人の眞似をするやうに、子供は自分の最も敬愛する兩親の眞似をするのは自然であります。

子供を高尚に有益に育てるには兩親の行爲が高尚でなり有益でなければなりません。どんな教育をしても

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

どんな說敎を聞かせても、又、惡いことに對してどのやうな罰を與へても、親達がよき實例を示して居なければ何んにもなりません。

家庭に於て子供に絕對に强いなければならないことは從順といふことです、これはどんなに犧牲を拂つてもして置かなければならないことです。幼少の頃、獲得してしまつた不從順の習慣がその人の一生を不幸にする。その上に、現代社會の禍患の大部分が此處に發端を持つてゐると私は觀測してゐるものです。それから、子供の敎育に禁物なのは子供の目の前で可愛さの余り賞めそやすことです。子供が小さい割合にませたことをすると親達は驚いてさも、自分の子供は世にも稀れな利口者であるやうに言ひはやします。子供は調子付いて益々その利口ぶりを發揮します。愚劣なことを立派なことださ思つてしまいます。そして、學校へ行くやうになつた時分には、全く、一見遲鈍に見えるやうな子供になつてしまう例もあります。

幼芽時代の子供には高價な玩具を買ひ與へるとか澤山の玩具を買ひ與へて子供の歡心を得るよりは、單純なものを僅かに與へて子供を滿足させ樂しませるやうに敎へるのが必要でせう。つまらない玩具でも大切にするやうに敎へ、それが壞れた場合には、直ぐ、捨てゝしまう代りに、どうしたら元のやうに直すことができるかを考へさせるやうに敎へるのが肝要であり、そういふ習慣をつけることがやがてはその子の藝術的であり、且つ有益な仕事をする習慣となります。

古人の言葉に、『訓練は無作法を取り去る手段である。第一に、眞、卽ち、生活に有益でないものは敎へないこと、第二に、完全、卽ち知識を磨き、駄辯を弄せず、淸い生活を送るやうに敎へること、そして第三には、明瞭、卽ち、ものを明かに鮮やかに手には五本の指があると云ふやうにハツキリと敎ゆることである』と云ふのがあります。

山田わか著
昭和婦人讀本　處女篇　家庭篇
◇定價各冊壹圓　送料十錢◇
東京市牛込區赤城元町三四　文敎書院

兒童教育と活動寫眞

子供に活動寫眞を見せることは、生理上にも心理上にも過度の刺戟であるようです。ですから、生理學者も心理學者も寫眞の性質いかんを問はず之れを否としてゐます。併し、倫理上から考へると善い寫眞なら見せてもよいと云ふことになります。そこで、この兩方の學理に從つて、子供の利益を計るには年齡を制限し寫眞の性質を選定することによつて恐らく調節されるであらうと思はれます。

如何なる自由思想をもつた人でも、又、子供の教育に對して絕對無干涉主義の人でも、人間は模倣の動物であると云ふことは知つている筈です。實に、社會現象を模倣によつて九分九厘迄說明した學者さへある程です。それ程、模倣 力は反省の力よりも遙かに大きなものです。子供達が見て來た寫眞の眞似をして遊ぶと云ふことは多くの人々の目擊する事實です。

と云つて、子供の柔かい感覺を刺戟するのが惡いと云つて或る年齡迄それを差し止めて置くならば、その年齡に達した時に何もかも一時に見る詰果、見るものゝ性質の善惡の區別が出來なくなるかも知れません。ですから、子供の白紙のやうな心には優美な、高尚なものを選んで見せて置くことが有益でせう。さすればそれが彼等の第一印象となつて成長してから色々の下品なものや好ましからぬ映畫を見ても、彼等の第一印象なるものが凡てそれ等を反撥するように考へられます。

そこで、私は子供には最も美しい最も高尙な敎訓的な寫眞を見せることは望ましきことであり、もし、そのための寫眞館が特に設備されることは尙更望ましいことであると思ひます。

我が當局が單に制限することばかり考へないで活動寫眞を大いに善用するように努力されることを希望します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯の後

若い婦人達のために、特に、女學校卒業程度の諸嬢に讀んで頂くために、あまり大部でない本を造つて見たいと云ふ希望を私は長い前から持つてゐました。けれども、そのうちに世間は讀本ばかりになりましていろんな讀本がぞく／＼出ますので、どうもその流行を追ふようになつても面白くないと思つて躊躇してゐましたが、この度文教書院からの御希望もあつたり致しましてとう／＼私も決心して若き婦人向きの本を編纂致し「昭和婦人讀本」と名付けました。

最初は一冊のつもりでしたが、原稿をあつめて見ますと一册ではどうしても盛り切れませんので、止むなく、二冊とし、一冊を「處女篇」もう一冊を「家庭篇」と致しました。文字が示しますように「處女篇」は結婚前の諸嬢を「家庭篇」は家庭を御持ちになつた新夫人を目あてに編纂したので御座います。ですから、この二冊のうちに私の婦人論の大體は盛られてあるつもりで御座います

女性としての長い間の實際生活に出立し、多くの學者の最近の意見に裏書され、いよ／＼強くなつた私の信念がお一人でも多くの若き婦人のお心に觸れて行くことを祈りつゝ編纂致しました此の讀本が、進み行く方向に迷ふ若い方達の御參考になるならば著者としてこの上の幸福は御座いません。本誌本號十二頁の廣告を御らん下さいませ。

◎寒風骨を刺す冬、雪害や震災で我が同胞の多くを苦しめた冬もいよいよ行き過ぎました。春の暖い日光が凍てついた地面をあたゝめ、土の中に潜在する生命をはぐくみ伸すように、それ等の災害で非常な苦難に逢はれた方達の上に元氣と人生の喜びとが再來することを祈り、本號の筆を擱さます。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

▼誌代及郵税は前金の事▲御送金の際は振替貯金東京五三六八八八番に御拂込みのこと▼郵券代用は五厘切手にて一割增▼廣告は御照會次第御相談いたします

昭和二年三月廿三日印刷納本
昭和二年四月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN